



全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年4月17日（木）に、小学校6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。その結果が7月末に文部科学省から公表されています。この調査は、児童の学力や学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てていくことを目的としています。一方、調査により測定できるのは、学力の一部となりますので、このことを十分に考慮したうえで、学校と家庭と地域が連携し、学校での教育活動をより充実させていきたいと思っております。

【国語・算数・理科の成果】

- 思考・判断・表現を問う問題に対して、正答率が高い傾向にある。
- 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。
- 話し手との考えを比較しながら、自分の考えをまとめることができた。
- 複合図形の面積の求め方について、式や言葉を使って記述できる。
- 問題の意図を理解して、表現する設問の正答率が高い。

【国語・算数・理科の課題】

- ▲知識・技能を問う問題に対して、正答率が低い傾向にある。
- ▲目的に応じて、文章と図表等を結び付けるなどして、必要な情報を見つけることができない。
- ▲身近に小数がないので、相対的な大きさがわからなくなる。
- ▲植物の成長や電池の流れにおける、知識・技能が身につけていない。



【課題改善に向けた具体的な取組】

- ・授業で学んだ知識を使って説明する活動を設定することで、学びのアウトプットを充実させていく。また、振り返り活動も充実させていく。
- ・「読む・書くワークシート」「読むYOMUワークシート」に取り組み、読解力向上をめざす。
- ・情報収集活動では、主に教科書を情報源として使い、自分の課題設定に対して、必要な文章に線を引かせたり、図表と関連させたりできるようにする。
- ・デジタル教材に加えて、具体物や班具体物を使って、体験的な学習活動をしていく。
- ・探究のプロセス（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を授業の中で取り入れていることで、主体的・対話的で深い学びを実現していく。

【今、求められる力について（質問紙調査より）】

	児童質問紙	自校	全国
主体的な学び	授業では、課題の解決に向けて、 自分で考え 、自分から取り組んでいた。	78.6	80.3
対話的な学び	学級の 友達との間で話し合う 活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	78.6	84.9
深い学び	授業で学んだことを、 次の学習や実生活に結びつけて 考えたり、生かしたりすることができると思う	71.4	82.5
個別最適な学び	授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	75.0	83.4
協働的な学び	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに 協力しながら課題の解決 に取り組んでいる	100.0	91.9
学びのアウトプット	授業では、各教科で学んだことを生かしながら、 自分の考えをまとめる 活動を行っていた	71.4	77.8



【課題改善に向けた授業改善】

- ・ 課題に取り組む時に、自分で目標を設定し、わからない時には自分にとって必要な相談相手を探す等して、自分に合った学び方を選択できるようにする。
- ・ 振り返り活動を通じて、自分がどのように学びに向き合ったかを積み上げていく。
- ・ 色々な体験的な学習を通じて、「発見したこと、わかったこと」等自分の考えをまとめたり、アウトプットしたりする機会を増やしていきます。

【非認知能力について（質問紙調査より）】 *否定的回答割合を表示しています

	児童質問紙	自校	全国
やりぬく力	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	21.4	18.1
自制心	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力することを決めて取り組んでいる	14.3	19.1
自己肯定感	自分には、よいところがあると思う	14.3	13.0
社会性	人が困っているときは、進んで助けている	0.0	6.0



数値が低い方が良い

【非認知能力を育成するために家庭でできること】

《家庭での取組の例》

- ・ コミュニケーションを大切にする。（共感する、質問して考えるきっかけをつくる）
- ・ 挑戦を応援する。（失敗から学ぶことを教える、目標を設定し努力する過程を経験させる）
- ・ 自分で決めさせる。（服を選ぶ、遊ぶ時間を決める等、自分で決める機会を増やす）
- ・ 責任を持たせる。（簡単な家事等の役割を与える）
- ・ 読書の習慣をつける（絵本の読み聞かせをしたり、一緒に読書をしたりする）